

生活道路や事故危険箇所の  
安全対策を進めよ



自由民主クラブ 渥美 典尚 議員

**議員** 道路行政について、本市では、生活道路の速度抑制策として、路上に障害物があるような描画をするイメージハンプの設置などを行っている。効果の検証と今後の展望を聞く。

**市長** 市道における交通事故件数は減少傾向にあり、一定の効果が上がっていると認識している。今後も積極的に進めていきたい。

**議員** 生活道路の一方通行化は、交通静穏化や防犯など、安全安心のメリットが多くある。市の一方通行化推進における所見を聞く。

**市長** 周辺地域全体の調整が必要となるため、交通管理者と丁寧な協議をしながら、進められるべきところを進めていきたい。

心身の健康づくりができる  
安全な夏休みの環境整備を



自由民主クラブ 土屋 健一 議員

**議員** 市立中学校では、年間授業時数が増えた平成24年度から3年間、中学校長の会の要望を受けて夏休みの最後の数日間を授業日としたが、今年度取りやめた。変更の経緯と理由を伺う。

**教育長** 試行的に認めたが、部活動の大会や高校入試説明会などの日程重複等の課題が判明し、26年度で終了した。今後は土曜日等、時数を確保する見通しだ。

**議員** 小・中学校で夏休み

休業日を設置することについて所見を伺う。

**教育部長** 有意義と考えるが、十分な準備が必要であり、検討課題としたい。

食育の推進に取り組み  
学校給食に市内産野菜を



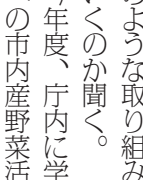
自由民主クラブ 加藤 浩司 議員

**議員** 近年、食生活をめぐる環境が大きく変化し、その影響が顕在化する中で、国は「食育」の重要性について認知度を高めるよう努めている。国の第2次食育推進基本計画及び都の食育推進計画に基づき、本市の取り組みについて聞く。

**市長** 本市では、国の計画、とりわけ都の計画との整合を図り、食育による健康づくり推進の立場から、多摩府中保健所、JAなど関係機関と連携して、三鷹市という地域の特性を生かし効果的に事業を進めている。

**議員** 本市は子どもの食育に関して、保護者、教育関係者等の意識向上を図りながら、様々な取り組みを進めている。家庭における食

伝統的な家族の重要性を  
地域で子どもたちに伝えよ



自由民主クラブ 吉野 和之 議員

**議員** 同性カップルを結婚に相当する関係と認める自治体が出てくる一方で、政府は3世代同居・近居を推進する少子化社会対策大綱を今年3月に閣議決定して

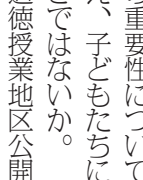
いる。家族をめぐる社会情勢の変化について、市長の基本的見解を伺う。

**市長** 家族の重要性を認識するとともに、中立・公平な行政に責務を持つ立場と

して、新しい家族のあり方を制度とするには、慎重に勉強しなければならない。

**議員** 小・中学校の道徳では、伝統的家族のよさをともに考える指導がされている。教育長の見解を伺う。

継続可能な商工業の育成と  
都市整備計画について



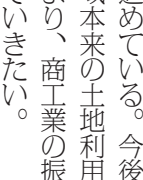
自由民主クラブ 石井 良司 議員

**議員** 市内の企業・事業所数が激減している。事業継続のための支援施策の充実に向けた取り組みを聞く。

**市長** ものづくり産業集積促進事業や新・元気をだせ商店街事業補助金等の周知、活用による支援の他、

**議員** 製造業が営める準工業地域等の一部を住・工調和形成ゾーンとして位置付

調布飛行場の安全確保のため  
航空管制官の存置を求める



やさしい市政へ 伊沢 けい子 議員

**議員** 本年7月26日、調布飛行場から離陸した自家用機が住宅地に墜落し死傷者を出す大惨事となった。住宅密集地である上に、全国的にも離着陸回数が多い飛行場において、航空管制官を撤退させたまま航空機の運航を認めていることは大きな問題である。管制官の撤退に至った経緯と管制官の権限について聞く。

**市長** 平成11年から17年にかけて、国から都に管制業務撤退についての申し入れがあった。国からは調布飛行場の管制、情報提供業務は、設置管理者である都が

第二副市長 指摘の点について課題があることを認識している。積極的に都に働きかける等していきたい。

利便性の向上と  
公平性の担保を



維新の党 増田 仁 議員

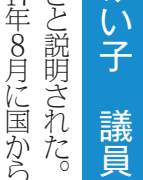
**議員** 民間を率先して利用することで、保育サービス

**議員** 三鷹駅前デッキの喫煙所については、住所地の自治体に確認をしているが、国外に居住している場合、確認は行っていない。

**議員** 三鷹駅前デッキの喫煙所については、住所地の自治体に確認をしているが、国外に居住している場合、確認は行っていない。

**議員** 三鷹市から国及び都に対して撤退通知があった。次に、管制官の権限は離着陸許可、管制圏内を飛行する航空機への飛行指示、空港内を走行する航空機への走行指示などである。

調布飛行場の安全確保のため  
航空管制官の存置を求める



やさしい市政へ 伊沢 けい子 議員

**議員** 本年7月26日、調布飛行場から離陸した自家用機が住宅地に墜落し死傷者を出す大惨事となった。住宅密集地である上に、全国的にも離着陸回数が多い飛行場において、航空管制官を撤退させたまま航空機の運航を認めていることは大きな問題である。管制官の撤退に至った経緯と管制官の権限について聞く。

**市長** 平成11年から17年にかけて、国から都に管制業務撤退についての申し入れがあった。国からは調布飛行場の管制、情報提供業務は、設置管理者である都が



準工業地域にある狭あいな道路

**議員** 準工業地域周辺の道路は、狭あい、一方通行が多いため、事業者の車の出入りが難しい。道路の拡幅等の対策が必要ではないか。

一般質問の模様は市議会ホームページの本会議録画中継でご覧になれます。